

# 日本災害看護学会 令和6年能登半島地震活動報告

2024年2月3日(土)

活動隊員：酒井彰久、佐々木久美子、宮前繁、田中加苗

## 1. 活動日時

2024年2月3日(土)0時~24時

## 2. 活動場所

珠洲市立大谷小中学校(石川県珠洲市大谷町1字78番地)

避難所使用者数 36人(一時避難者あり) 22世帯

## 3. 石川県の被害状況(2月3日14:00現在 石川県 被害等の状況について)

人的被害 死者:240人 負傷者:1,421人

住家被害 全壊・半壊・一部損壊:49,429棟

## 4. 天候

曇り 最高気温 4℃ 最低気温 -3℃

## 5. 活動の実際

7:00 起床 ホットタオル配布・健康観察

8:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting

9:00 朝食

9:30 3階教室片づけ・清掃、保健師チーム対応

11:00 交流スペース設置

12:00 昼食

13:30 避難所内清掃

14:00 宮前・田中チーム合流、申し送り

15:30 クイックルワイパーにて床清掃

16:00 避難者が退所された部屋の片づけと掃除

16:30 ラジオ体操

17:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting

18:00 夕食(配膳、下膳) 支援物資の節分の豆の配布

19:00 大谷小中学校本部関係者 meeting(本部長含む)

20:00 健康観察、記録

21:00 消灯、適宜対応

## 6. 考察

[活動量、社会交流] 2日に15名が2次避難したことで避難者数が減り体育館内スペースに余裕ができたため、避難者同士の交流促進、椅子に座って食事をとっていただくことを目的に、空いたスペースに長机を置き交流コーナーを設置した。本日の昼食、夕食では利用者がわずかであったが、避難所管理の方々と話し合い、しばらく利用状況の様子を見ることになった。まだスペースが空いているため、明日避難児童の意見も取り入れながら、キッズスペースの設置を実施する予定(本日は週末のためか児童は1名

のみ)。日中は、体育館内に滞在しているのが 10 名ほどであったが、ラジオ体操の映像を流すと皆さんベッドから立ち上がり一緒に体操していただき、生活リズムの一つとなっていることが窺えた。夕食時に、節分豆のお菓子を配布したところ「今日は節分か」と初めて気づかれた方もおり、笑顔で受け取られていた。

[衛生面] トイレの清潔は保たれており、スリッパの履き分けも徹底されている。体育館内はこれまで掃き掃除のみ実施していたが、汚れが目立ったため、全体的に拭き掃除を実施。夜間のせき込み軽減に効果があるか経過観察を行なっていく。

[環境整備] 支援物資が体育館奥のステージ上、児童が通る学校廊下に高く積みあがっている。不要になった段ボールベッドや更衣室テントの解体等も含めて、避難所管理の方々と相談しながら、児童の学習環境と避難者の生活環境の両側面に配慮しながら、環境整備をしていく必要がある。

写真. 避難者が使われていた部屋を、教室として使用開始するための清掃の様子

清掃前



清掃後

